

新春人づくりセミナー

こんな幹部が会社を強くする

—その新日本型育成法の検討—

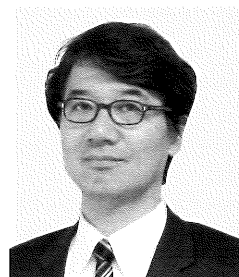
■講師 (株)現代経営技術研究所

所長 大槻裕志

■日時 2016年2月18日(木) 13:30~16:30

■場所 東京国際フォーラム G407号室

東京都千代田区丸の内3-5-1 TEL.03(5221)9000(代)



セッションⅠ なぜ今、幹部力が問われるのか

13:30~14:20

- なぜ日本企業育ちの幹部は新時代適応に遅れるのか?
- 日本企業2つの人材欠落
 1. 事業開発の幹部人材
 2. 海外拠点経営の幹部人材
- 現場の平均点が上がっても会社は変わらない
- 新幹部人材を起点に経営イノベーションを起こす覚悟

セッションⅡ 欧米と日本—幹部育成はどう違う

14:20~15:20

- 米国企業—実力主義と成果主義、その光と陰
- 欧州企業—経営幹部と現場社員の格差構造
- 従来型日本経営がもたらしてきた幹部機能劣化
- 日本的平等主義—活かすポイント、潰すポイント

<コーヒーブレイク 10分>

討議

セッションⅠ、Ⅱの内容についての質疑と参加者の提起する問題をめぐる討議
 ※参加者の方の積極的な反論・質疑を希望します。特別なテーマについてのご希望も、できるだけお受けいたします。

セッションⅢ 新日本型経営—
これからの幹部はこうつくる

15:20~16:30

- 日本企業幹部の新しいスタンダードをつくらう
- 長期人材育成基本構想をもとう
- 現在の幹部への意識改革・教育施策
- 次世代の幹部育成への抜本改革と精鋭化教育
- こういう修羅場を踏ませて幹部を選ぼう
- 才能ある人材の早期発掘と成長加速のキャリア設計
- 具体的な研修プログラムをどう展開するか
- 「将来、私も幹部になりたい」—若手社員の憧れをつくらう

なぜこのセミナーを開催するのか

本年の当セミナーは、日本企業の幹部育成の抜本改革に焦点を当てて進めます。

各社にとって幹部とは、自社の経営を方向付け、組織風土を高め、現場の力の最大限の発揮を促す鍵となる人材です。

企業間競争が一段高いステージに上がり、グローバル展開の巧拙が社の生存・発展を左右し、自社で働く社員の価値観や働き方への希求が多様化する時代にあって、経営を担う幹部の思考と行動、並びに、その育成のためのシステムは大きく変わらなければなりません。日本企業は自社の新しい幹部像のスタンダードを創り出す必要があるのです。

50年にわたり、個々の企業の人材構想づくりや企業内の研修に当たってきた現研が、セミナーの型式をとり、共通の問題意識をもつ広範な方々に、当研究所のもつ情報・ノウハウを提供し、人づくりの新しいかたちを提示します。

会社を強くする幹部の条件

幹部の特性をぎりぎり絞った場合

